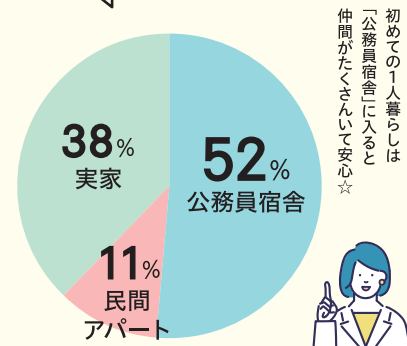
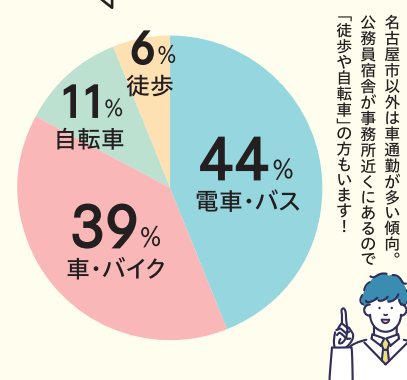


若手職員アンケート

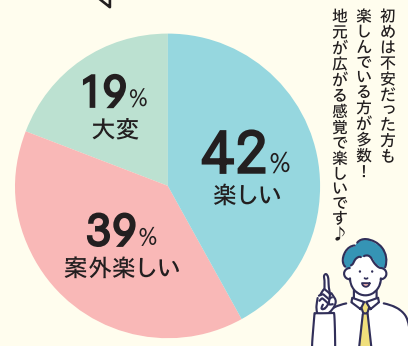
Q.どんなところに住んでる？



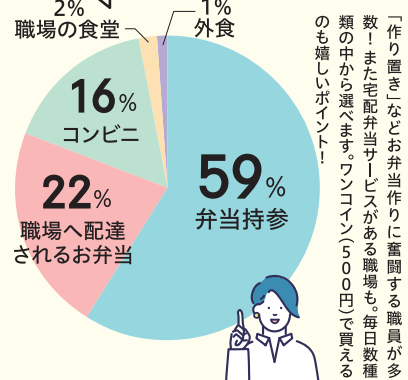
Q.主な交通手段は？



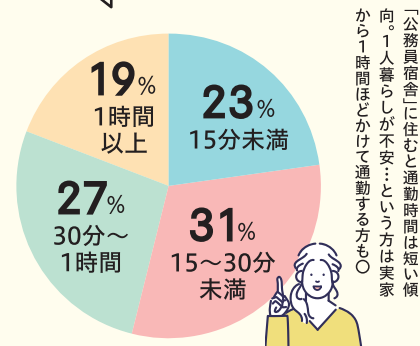
Q.地元を離れてみてどう？



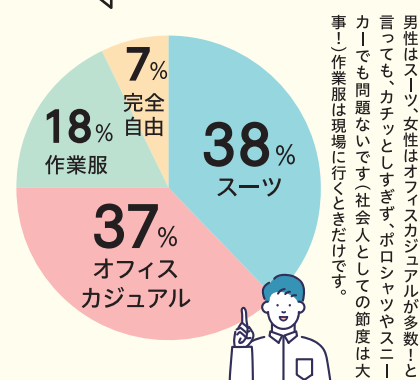
Q.ランチはどうしてる？



Q.通勤時間はどのくらい？



Q.職場での服装は？



若手職員の生の声、Instagramで発信しています

建設部門
行政・河川・道路
建築・電気・機械



港湾部門
行政・港湾



#入省のきっかけ



説明会で耳にした「地図に残る仕事」というフレーズが強く印象に残ったことがきっかけ。また、「社会の当たり前を支える仕事」という点に魅力を感じました。

#1年目の仕事内容



所属の用地第一課では、事業を行うための土地を取得することを業務として行っています。私は現在、事業予定地がどのような土地で誰が所有しているのかといったことを調べる権利調査を主に担当しています。

#休みの日の過ごし方



プロ野球の試合をよく見に行っています。今年からは声出しも解禁され、球場本来の雰囲気を楽しむことができています。職場からドームが近いので、仕事終わりに同期と行くこともあります📺

#がんばるみなさんへメッセージ



就活生のとき、常に向上心を持っていきなや、という気持ちに押しつぶされそうになったことがありました。気分が乗らない日は就活と全然関係ないことをしてもOK。自分の機嫌を自分で取れるようにするとこれから先の人生にも役立つはず！



学校で身につけた防災に関する知識を活かして、中部地方を災害に強いまちにする取り組みに携わりたいと思ったからです。また大規模災害が起きた時に、TEC-FORCEとして被災した地域を助けたいと思ったからです。



国道25号名阪国道において、交通事故等の課題に対処するために、インターチェンジの改良工事に関する事業に取り組んでいます。その中で、工事発注に関する資料作成、議事録作成、打ち合わせの日程調整を行っています。



家で音楽を聴いたり、テレビやアマゾンプライムを見たりとのんびりしていることが多いです。車の運転練習も兼ねて、市内のお店の散策もしています。（少しずつ運転出来る範囲も広がってきました笑）



規模の大きな業務に関わることができる点、日本の輸入・輸出を支える重要施設である港湾の開発、維持管理を通して国に貢献できる点に魅力を感じ、入省したいと思いました。



船に乗って工事の現場に行き、安全確認を行っています。仕事を進める中で変更点などがあつたときに、受注者の方や関係部署と打ち合わせを行い、工事を円滑に進められるよう奮闘しています。



学生時代にやっていたテニスを、職場の方に誘われ再開しました。他の事務所の方、幅広い世代の方と交流を深めることができています。

公式SNSの更新や現場見学会対応を通して、一般・地元の方から期待の声を聞いたとき	自分の知識が着実に増えていき、業務の一員になれていると感じたとき	開通式の際に道路の重要性や地域からの期待などを実感し、そのような事業に携わること	携わる工事の規模がやはり大きく、自分が担当している工事の現場を見学した時は感動した	トンネルが貫通する瞬間に立ち会えたこと。地図に残る仕事に携われていること	1年目から重要な仕事を任せてもらえたり、現場に赴くことも多いのでたくさん経験ができること
フィールドワークが多く、目で確かめることで事業規模の大きさを実感したとき	やりがいを感じた瞬間	建設現場に行き、インフラが出来ていく様子をみて、これに携わっていることを実感したとき	中部5県が管轄なので、色々な土地を知っている人に出会えること（美味しいものやおススメの場所を開ける！）	改めて中部地方整備局を選んでよかったこと	地方公務員と比べ部署が多いため、自分の好きなジャンルでキャリア形成しやすいこと
徐々に自分で考えて行動したり、自分の考えを持って仕事ができるようになったとき	上司に任せてもらえる仕事が増え、自己成長を感じたとき	自身の準備した道路事業に関するパネルが商業施設に展示され、新聞の片隅に載ったとき	職場の雰囲気がいい！最初は仕事に不安を感じてたが、すぐに相談ができるので心配なく仕事に打ち込むことができる	福利厚生がしっかりしていて、職場の近くに宿舎があるので生活の時間をしっかり取れること	皆さんが優しく教えてくださり、非常に質問がしやすく、話しかけやすいこと

業務の中でこのほうが効率よくできると思ったときに気軽に提案できて、実践させてもらえること	入省後も、業務を通して自分で調べたり、勉強することが想像以上に多いこと	仕事に対してみなさん前向きな考えを持った人が多い	ホワイトボード（100均）に一日の目標を書きだしてモチベーション維持していた	多くの過去問を解くことで試験問題の傾向をつかむことや、勉強をやりたくないときは勉強をしないなど、メリハリをしっかりとつけること	苦手科目で平均点を取れるように難しい問題を捨てること。自分で取捨選択することが大切！
現場に出ることよりも受注者との打ち合わせ等が多い	入省後に感じたギャップ	入局1年目から業務委託の方に依頼をするマネジメントに近い仕事をする	国家公務員試験用の参考書や過去問を10年分やりました。各年、できなかったところをメモして、1週間後に解きなおして	国家公務員試験勉強アドバイス	わからないことをすぐに人に聞ける環境を作ることが一番大事！公務員志望の友達や、公務員に詳しい先生を捕まえておく
デスクワークばかりだと思っていたが、現場に出て実際に確認することも多いので仕事のメリハリがつかうこと	時期によって残業が多い雰囲気がある	休日の取り方や働き方（テレワーク・フレックス）に自由度が高い。服装も自由度が高い！	一般教養の中で配点が低い科目は勉強時間を少なく、専門科目等の配点が高い分野に勉強時間を割くのが得点を稼ぐ方法	勉強するときはスマホで自分の動画を撮り、vlog撮影している気分であらう勉強していた（笑）すぐスマホを触ってしまう人におすすめです	筆記試験も重要だが、それ以上に面接試験が大切！自分の言葉で自分の思いをどう伝えるか、突発的な質問に対して答えられるネタ集め（学生時代の出来事を文庫化）することを心がけた